



下条小1年生と未就園児が一緒に七夕飾りづくり（7月7日）

主な内容

- コムソモリスク市子供代表団来市 ②③
- 新規高卒求人説明会を開催 ④
- 平成26年度下半期の財政状況 ⑤
- 第58回 総体開幕 ⑥⑦
- 加茂の風土記「加茂市役所遺跡」 ⑧

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に病児・病後児保育施設を！ お金は加茂市と田上町が負担！

新加茂病院に産科の個室がそろった産科を！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。
これこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。



コ市からの記念品を送られる小池市長

七月二十一日から二十八日までの八日間、ロシア コムソモリスク・ナ・アムーレ市子供代表団が来市しました。滞在中に代表団は、市内の小中学校、保育園、各施設を訪問して児童・生徒との交流を深め、またホームステイで日本の生活を体験しました。

コムソモリスク市との交流は平成三年から始まり、子供代表団の訪問は今回で十四回目になります。ハバロフスクから今シーズン第一便の飛行機に乗って来た一行は、新潟空港でミス雪椿の車谷唯さんと大塚英恵さん、新潟県のマスクット・トッキーから出迎えを受け入国し、午後、JR加茂駅前に到着しました。

二十三日、市役所へ表敬に訪れた代表団長で副市長のタマーラ・オブセイコさんをはじめ十二名の子どもたちを前に、小池市長は加茂市の自然、産業、教育施設を紹介し「加茂市の中学生が訪問した際には大変お世話になりました。お互いの訪問で理解が深まるところで、これからも交流が続いて行くでしょう。一週間の滞在を楽しんでください。」とあいさつしました。代表団長のオブセイコさんは「十二人の子供たち一人ひとりが加茂市へることを楽しみにしていました。同年代の生徒たちが通



若宮中で「うちわ」の飾り付けをする代表団



稚児御神楽でお出迎えする須田小児童

う学校への訪問が予定されていると聞き、どんな授業が行われているのか興味があります。そして帰る時には、たくさんの日本の友だちができていると思います。「とあいさつされました。表敬の記念に、コムソモリスク市から市のシンボルを形どったクリスタルの置物が、加茂市からは代表団全員に総桐製小引出が贈られました。

学校訪問は、二十三日に加茂中学校、二十四日に須田小学校と若宮中学校、二十七日に芝野保育園を訪問しました。

加茂中学校では、空手道の模範演技の見学と習字を体験しました。

加茂中学校では、空手道の模範演技の見学と習字を体験しました。ペンとの筆感の違いに戸惑いながら漢字を書きました。須田小学校では、地域の神社で奉納される稚児神楽で一行をお迎えし、竹馬、一輪車、あやとり、けん玉、ロシア語でのイス取りゲームで楽しみました。若宮中学校は、グループに分かれ、英語での自己紹介と折り紙飾りを付けたうちわ作りで交流しました。

特別養護老人ホーム第三平成園を訪れた代表団は、寝たきりや車いすで生活している人が利用する特殊浴槽の説明を聞き、実際に入浴するまでの体験をしました。

二十四日から二日間はホームス



加茂中では毛筆で漢字を練習



第三平成園の特殊浴槽を体験

コムソモリスク市と加茂市の交流の目的は、お互いの文化に対する理解を深めていくことです。訪問先の学校で、いろいろなプログラムで過ごすうちに、ロシアだけでなく日本の文化や言語に興味を持った生徒たちがたくさんいました。この交流は子どもたち的好奇心と探求心も大きくしてくれるようです。



体操トレーニングセンターを見学

コムソモリスク市子供代表団 訪問日程

- 21日 新潟空港から入国一午後加茂市へ
- 22日 市役所に表敬訪問一加茂中学校一加茂山公園一歓迎パーティー
- 23日 須田小学校一第三平成園一若宮中学校一体操トレーニングセンター一温水プール
- 24日 マリンピア日本海一椿寿荘一ホームステイ(～26日)
- 27日 下条川ダム一芝野保育園一寺泊方面観光一美人の湯
- 28日 市役所でお別れあいさつ一新潟空港から帰国

加茂地区新規高卒求人説明会（7月13日）



県内企業47社と、
就職希望の高校生170人
が参加



1階大ホールと2階会議室に企業ブースを開設しました。

始まる前に、小池加茂市長は「自分の一生を決めることがosoあるので、この機会を有効に利用してください。」とあいさつしました。続いてハローワーク三条の奈良橋所長から「昨年から景気が上向いており、来年度の求人数は過去最高となっています。」とあいさつされました。

高校生は「いろいろな企業の説明を聞いて、自分が好きで続けていける仕事と会社を見つけていきたいです。」と話していました。

自分の職業を見つける機会に

来年春に就職を希望する高校生を対象とした企業説明会が開催されました。高校卒業予定者向けの企業説明会は、今回四回目で、参加企業は四十七社とこれまで最大となりました。会場の産業センターでは、一階の大ホールだけでは企業ブースが足りず、二階会議室にも企業ブースをつくり対応しました。説明会には、県央地域の十校・約百七十人の高校生が集まり、各社の採用担当者から業務内容などを聞いていました。



大ホールでは、47社の内、35社が説明ブースを開設し、製造品目、1日のタイムスケジュールの説明が行われました。

平成26年度 下半期の財政状況

加茂市には、どのようなお金が入り、何に使われているのか…。
市では毎年財政状況を公表しています。今回は、平成27年3月31日までの財政状況をお知らせします。

■一般会計

予算額 144億 215万円
収入済額 111億1,916万円 (収入割合77.2%)
支出済額 110億4,293万円 (支出割合76.7%)

歳 入 歳 出

上段：予算額
下段：収入・支出済額

43億2,885万 42億2,100万	地方 交付税※	民生費	41億6,084万 38億7,194万
30億5,560万 11億8,472万	諸収入	商工費	28億 225万 11億9,617万
28億3,066万 27億4,606万	市 税	土木費	15億6,246万 10億5,602万
13億7,160万 11億7,905万	国 庫 支出金	公債費	14億5,414万 14億4,886万
6億4,708万 6億 620万	市 債	総務費	14億1,687万 7億3,692万
7億5,087万 4億4,485万	県支出金	教育費	12億1,535万 10億8,464万
3億5,000万 3億1,527万	地方消費税 交付金	衛生費	6億9,403万 6億4,036万
10億6,749万 8億7,201万	その他の 収入	その他	10億9,621万 10億 802万

※臨時財政対策債は地方交付税に含む

■特別会計

項目	予算額 (万円)	歳 入		歳 出	
		収入済額 (万円)	収入割合	支出済額 (万円)	支出割合
国民健康保険	33億6,255	26億3,507	78.4%	30億4,700	90.6%
後期高齢者医療	2億8,648	2億7,791	97.0%	2億7,670	96.6%
宅地造成事業	3億4,946	1億7,229	49.3%	1億1,493	32.9%
下水道事業	22億3,572	13億1,174	58.7%	17億1,378	76.7%
介護保険	29億9,595	28億5,201	95.2%	27億 718	90.4%
在宅介護サービス事業	5億6,716	5億1,616	91.0%	5億5,427	97.7%
合 計	97億9,732	77億6,518	79.3%	84億1,386	85.9%

■水道事業会計

項目	歳 入			歳 出		
	予算額 (万円)	収入済額 (万円)	収入割合	予算額 (万円)	支出済額 (万円)	支出割合
収益的	6億2,020	5億4,308	87.6%	5億8,232	5億4,801	94.1%
資本的	5,620	4,200	74.7%	1億7,393	1億5,894	91.4%

※収益的収入からは減価償却費として2億1,808万円が天引きされ、これが留保財源（貯金）となります。
収入と支出の差は、この留保財源（貯金）で補てんされ、余った分（黒字）は翌年度へ繰り越されます。
この翌年度へ繰り越される留保財源（黒字）は3,015万円です。

市有財産の状況	
土 地	1,397,900m ²
建 物	161,269m ²
構 築 物	233基
基 金	2億5,929万円 95,287m ²

市債の現在高	
一 般 会 計	105億8,650万円
下水道事業会計	121億9,135万円

※市債現在高は105億8,650万円ですが、国が全額負担する分を除くと55億9,295万円となり、これを返済するとき国がさらにその一部を負担しますので、実際に加茂市が返済する金額は37億5,089万円となります。



第58回 加茂市総合体育大会 19競技で開幕

体育功労者・優秀指導者と
全国大会への出場など
優秀競技者を表彰

七月十七日、文化会館で総体総合開会式が開催されました。加茂高校吹奏楽部の皆さんが演奏する中、十九競技の参加各団体が入場行進で始まり、体育功労者と優秀指導者、昨年から今年六月までの大会で上位入賞した皆さんを表彰しました。そして硬式テニス、ソフトテニス、剣道のジュニア選手が抱負を述べたあと、加茂ジュニア陸上の高橋慶選手が「自分の目標に向かってがんばります」と選手宣誓を行いました。総体は、六月の登山から始まっており、来年三月のサッカー・フットサルの部まで続きます。ここで表彰された皆さんは次のとおりです。

(敬称略)

【体育功労者章】

▼有本道子（加茂市ゲートボール協会において競技普及に尽力）

▼高橋ヨミ（加茂市ゲートボール協会において競技普及に尽力）

【優秀指導者章】

▼近藤敏之（加茂スキークラブのジュニア選手育成に尽力）

▼山田和弘（加茂体操クラブ及び加茂高等学校体操部の選手育成に尽力）

【優秀競技者章（団体）】

▼加茂空手スポーツ少年団（第34回新潟県スポーツ少年団総合体育大会空手道大会小学生男子団体組

手3位）▼加茂体操クラブ小学生男子A（平成26年度新潟県体操競技ジュニア新人大会小学生男子A

クラス団体総合優勝）▼加茂高等學校体操部（平成27年度新潟県高等学校総体体操競技大会団体総合優勝）

▼新潟経営大学体操競技部（第65回西日本学生体操選手権大会団体総合4位）▼09経大FC（第51回全国社会人サッカー選手権新潟



7団体と46名を表彰

【優秀競技者章（個人）】

■スキーリング（新潟経営大学サッカーチーム）
▼KEINOHホワイトエンジエルス（第1回全日本女子総合選手権ドッジボール3位）

■ソフトテニス（前山知香（平成26年度北信越国体ソフトテニス競技2位）▼前山愛（平成27年度新潟県中学校選手権大会優勝）▼福島要（平成27年度新潟県中学校選手権大会優勝）▼阿部瑞希（第26回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会出場）▼馬場優芽（第26回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会出場）▼

福島希（第22回北信越小学生ソフトテニス選手権大会3位）▼太田茉奈果（第22回北信越小学生ソフトテニス選手権大会3位）

■剣道（増井龍太郎（第35回北信越国体剣道競技少年男子の部優勝）

■陸上競技（鶴巻陽太（第4回新潟県小学生陸上競技選手権大会小学3年百m優勝）▼船久保遙（第54回北信越高等学校陸上競技対校

県大会優勝）▼新潟経営大学サッカーチーム（第38回全日本大学サッカートーナメント北信越大会優勝）
ス（第1回全日本女子総合選手権ドッジボール3位）



選手宣誓は陸上・高橋慶選手

選手権四百mリレー4位)
■空手道▼伊丹 陸（第31回新潟県少年少女空手道選手権大会6年男子形の部優勝）▼安中大和（第31回新潟県少年少女空手道選手権大会6年男子形の部優勝）▼渡部翔矢（第34回新潟県スポーツ少年団総合体育大会空手道大会小学生団体組手優勝）▼渡部美天（第31回新潟県少年少女空手道選手権大会2年女子組手の部準優勝）▼泉田遙斗（第34回新潟県スポーツ少年団総合体育大会空手道大会小学生団体組手優勝）▼山岸優斗（第34回新潟県スポーツ少年団総合体育大会空手道大会組手小6男子優勝）▼渡辺凜太郎（第6回全日本空手道選手権大会組手小6男子優勝）



加茂高校吹奏楽部の皆さん

水泳競技▼浅野恵未（平成26年度国体新潟県予選会成年女子百m平泳ぎ優勝）▼難波若那（平成26年度国体新潟県予選会少年女子A50m自由形優勝）▼野村春乃（平成26年度北信越高校総体水泳競技大会女子四百mリレー7位）▼田口由亞（平成26年度新潟県高校選手権大会女子百m背泳ぎ2位）▼中林祥子（平成26年度北信越中学校水泳競技大会女子二百mバタフライ3位）▼大野一真（平成26年度全国JOC新潟県予選会男子百mバタフライ2位）



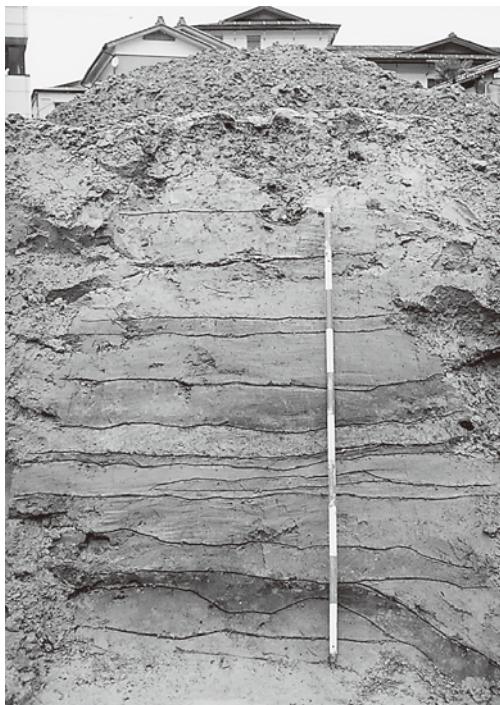
ジュニア選手の抱負発表

■体操競技▼北澤寛太（平成27年度新潟県体操競技選手権大会小学生A男子個人総合1位）▼保倉秀翔（平成27年度新潟県体操競技選手権大会中学生男子個人総合2位）
▼長澤響（平成27年度新潟県体操競技選手権大会中学生男子個人総合6位）▼佐藤脩平（平成27年度新潟県高校総体体操競技個人総合1位）▼栗林稜（平成27年度新潟県高校総体体操競技個人総合3位）▼北見将一（平成27年度新潟県高校総体体操競技個人総合5位）▼捧莉穂（平成27年度新潟県

県高校総体体操競技女子個人総合
5位) ▼五十嵐紗衣 (平成27年度
度新潟県体操競技選手権大会成年
男子個人総合1位) ▼染谷 誠
(平成27年度新潟県体操競技選手
権大会成年男子個人総合2位) ▼
細川翔伍 (平成27年度新潟県体操
競技選手権大会成年男子個人総合
3位) ▼佐藤誠浩 (平成27年度新
潟県体操競技選手権大会成年男子
個人総合3位) ▼宮崎優強 (平成
27年度新潟県体操競技選手権大会
成年男子個人総合8位) ▼島 風
之 (平成27年度新潟県体操競技選
手権大会成年男子個人総合10位)
▼石井健一 (平成27年度新潟県体
操競技選手権大会成年男子個人総
合15位)

加茂の風土記

加茂市役所遺跡の土層堆積写真（地表から3・5m下に約五千五百年前の地層が確認できる）



加茂市役所遺跡は文字どおり以前の加茂市役所庁舎があつた場所（松坂町）に所在することに由来した遺跡である。庁舎移転後の現在は加茂山公園の駐車場として利用されている。ここに縄文時代の遺跡が眠ることを知る人は少ないであろう。

今から六十年前の昭和三十年、市役所庁舎建設の際に、地表面下約三・五mの地層から縄文土器が出土した。歯科医師であつた八百枝茂らが遺物の採取を行い、昭和五十年刊行の旧版『加茂市史』上巻に概略が紹介された。その後、平成六年に市役所移転に伴う旧庁舎解体撤去工事が行われた際に確認調査を行われ、昭和三十年に出土した土器についても再整理し、あわせて報告書が刊行された。なお、出土品については民俗資料館開館当時から展示されている。

土器の出土量も少なく、住居が発見されたわけでもないが、遺跡の立地環境、すなわち低地にあることが本遺跡の重要な点である。加茂市役所遺跡発見当時と比べ、発掘調査手法の発達した今日では低地から縄文時代の遺跡が発見されることも珍しいことではなくなっている。しかし、その多くが縄文時代後期・晩期の遺跡であり、中期の低地遺跡の事例は少ない。

おそらく背後の丘陵にも縄文人の活動域が存在し、遺跡が見つかる可能性が高い。加茂山周辺をおよそ五千五百年前頃に駆け回っていた縄文人の姿を想像させる貴重な遺跡である。

（伊藤秀和）

人口のうごき

7月1日現在

世帯 10,315 (+11)
人口 28,934 (- 1)
男 14,003 (- 4)
女 14,931 (+ 3)
() 内は前月比

(6月異動分)

出生 12 (男 4 女 8)
死亡 29 (男 14 女 15)
転出 37 転入 53

加茂市役所遺跡

—低地の縄文遺跡—

出土した土器は今からおよそ五千五百年前の縄文時代中期前葉のものが中心である。土器の表面に半截竹管で施された連続した爪形

社会福祉費寄付金

▼中林和芳氏叙勲受章祝賀会実行委員会代表佐原禎一さんから 三万円

ふりかとつ